



病院だより

第42号

新城市民病院広報委員会

新城市字北畑32-1

Tel 0536-23-7852 (総務課)

Fax 0536-22-2850 (総務課)

新人看護師の研修を実施

2ヶ月間の研修

今年の四月から新たに5人の看護師が新城市民病院で働くことになりました。新卒採用者は、2ヶ月間の研修を経てからそれぞれの部署に配属されることとなります。研修では各部署の仕事を体験し、先輩看護師指導の下で看護業務の向上や診療報酬の仕組み、医療機器の機能などを修得しました。また、老人ホームなどの院外施設を訪問し、新城市民病院が他の施設とどのように繋がっているのか身をもって体験しました。

移動はSバスに乗って各施設を回りました。それを利用して患者さんの立場を体験し、Sバスの利便性を実感しました。6月からは各部署に配属され、看護師としてスタートします。



成果発表会

2ヶ月間の研修の締めくくりとして成果発表会を開催しました。入職してから

の日々を振り返り、自分たちの成長を確認し、これからどんな看護師を目指していくのかを発表する機会です。発表は全体発表が20分、個人発表が1人3分で行われました。研修で学んだことや、各部署の特徴、1年後の決意を発表しました。6月から各部署に配属になりますが研修で各部署の仕事が体験できたことで各部署のつながりを実感できました。

成果発表終了後は交流会があり、各部署の人たちが新人看護師を囲んで、

エールを送りました。交流会には宝陵高校の教頭先生にも参加いただき、宝陵高校出身の5人に励ましの言葉をいただきました。



た。また、企画として親から各新人に宛てたメッセージが流れ、感極まり涙していました。これは、これからの人生にとって大事な宝になるに違いありません。

「がんばれ新人」



新人看護師の紹介

3階病棟



高須 有美



田中 梨紗

4階病棟



小林 夏菜絵



浦山 三樹

5階病棟



橋本 怜奈

よろしく
お願いします



感染対策は手指衛生から

感染症委員会主催の

勉強会が5月20日に行われ、勉強会は毎月第3木曜日の午後5時半から定期的に行われており、看護師を中心に多くの方が参加しています。今回の講師は、磐田市立総合病院から感染管理認定看護師の田中恵先生を招いて「感染対策は手指衛生から！」という題名でお話をいただきました。咳エチケットや正しい手洗い、効果など院内感染を防ぐための基本的なことを中心に、基本こそがとても大事であることを改めて実感させられました。これを期に自分がしっかり手指の感染対策ができていくか見直し、意識することが大切です。



院内感染Q&A

Q1 なぜ病院は特別な注意が必要なの？

A1 病院には、免疫状態や抵抗力が下がっている患者さんがいて、感染症になりやすいからです。

Q2 感染の原因となる細菌及びウイルスはどのようなものですか

A2 インフルエンザウイルスやノロウイルスなど感染力が強いウイルスに加え、結核菌のように感染、発症すると重篤な症状を呈するものなどさまざまです。その他、弱毒の常在菌（普通の人でも保有している菌）でも免疫力や抵抗力が低下している場合は発症することがあります。

近年で、通常用いられる抗生物質が効きにくいMRSA（メチシリン耐性黄色ブドウ球菌）やVRE（バンコマイシン耐性腸球菌）等及び高齢者施設における疥癬（かいせん・タニの一種）も問題になっていきます。

評価委員を募集します

市民病院では、平成21年3月に策定した新城市市民病院改革プランの実施状況の点検及び評価をするため評価委員会を設置します。

そこで、市民の皆さんのご意見、ご提言を今後の市民病院の運営に活かしていきたいと考えていますので、ご応募ください。

対象者

市内在住または在勤の満20歳以上の方で平日の昼間の会議に出席できる方

募集人員

2名（募集人数を超えた場合は、当院で選考）

委員の任期

委嘱の日より平成23年3月31日

委員会開催

年間3回程度

（第1回7月28日午後開催予定）

応募方法

指定の応募用紙に必要事項を記入し、市民病院総務課へご提出ください。

郵送、ファックス、Eメールでも可能です。

応募用紙は市民病院総合窓口、新城市役所市民保険課、鳳来・

作手各総合支所地域振興課に備えるほか、市民病院ホームページからも

ダウンロードできます。

応募期限

平成22年6月18日（金）必着

あて先

〒441-1387

新城市字北畑32-1 総務課あて

Eメール byouin@city.shinshiro.lg.jp